

## 4-11 伊豆半島におけるラドン観測 (X)

### Radon Observations in the Izu Peninsula (X)

東京大学理学部

Faculty of Science, The University of Tokyo

前報<sup>1)</sup>にひきつづき、伊豆半島における地下水中のラドン濃度の連続観測結果(1990年11月~1992年11月)を報告する。

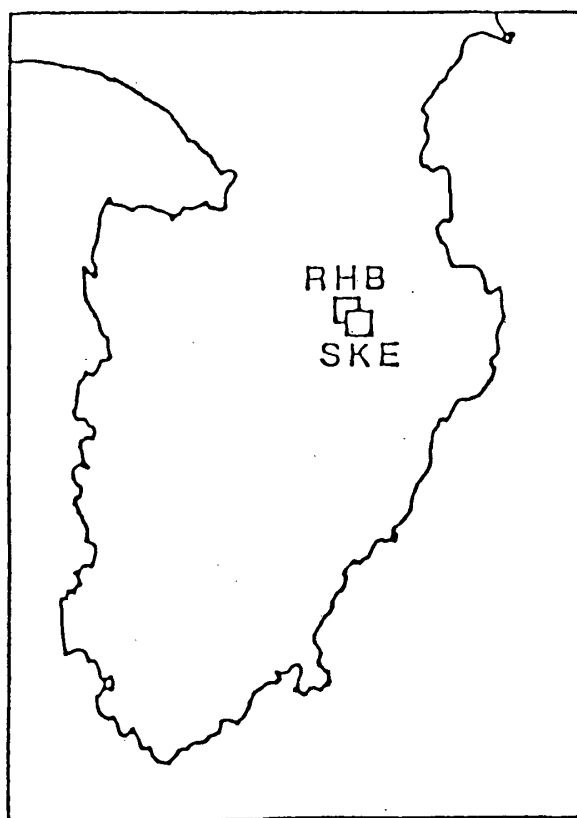
観測点は、第1図に示す中伊豆第1(SKE)、中伊豆第2(RHB)の2地点である。第2図は各観測点における連続観測の記録で、1時間毎のラドン濃度(積算値)の24点移動平均値を、この期間の平均値に対する相対値で示したものである。

SKEでは観測期間中のラドン濃度は極めて一定で、異常な変化はみられなかった。

RHBでは例年夏期に比べて冬期のラドン濃度は低く、変動も大きい。

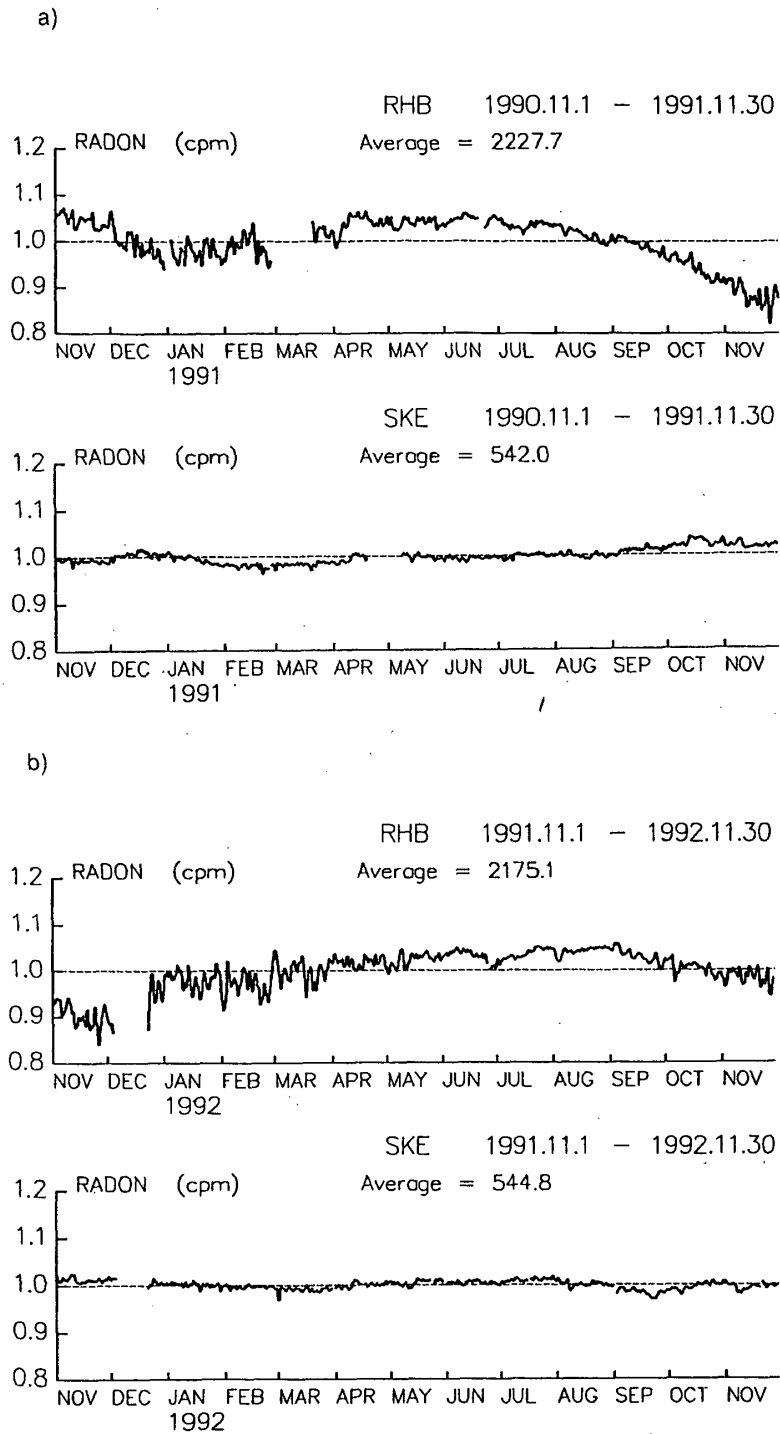
#### 参 考 文 献

- 1) 東京大学理学部：伊豆半島におけるラドン観測 (IX), 連絡会報, 45 (1991), 275-276.



第1図 伊豆半島の地球化学観測点の位置

Fig. 1 Locations of geochemical observation sites in the Izu Peninsula (SKE: Nakaizu-1, RHB: Nakaizu-2).



第2図 SKE (中伊豆第1), RHB (中伊豆第2) における地下水中のラドン濃度の変化  
a) : 1990年11月~1991年11月 b) : 1991年11月~1992年11月

Fig. 2 Temporal variations in the radon concentration in groundwater at SKE (Nakaizu-1) and RHB (Nakaizu-2), a): November 1990 - November 1991, b): November 1991 - November 1992.